

あとがき

編集顧問

糸満盛憲
越智隆弘
荻野利彦
小野啓郎
清水克時
竹光義治
守屋秀繁
富田勝郎
山室隆夫
矢部 裕

編集委員

金谷文則
菊地 巨一
黒坂昌弘
高岸 憲二
土屋 弘行
戸山 芳昭
内藤 正俊
吉川 秀樹

編集同人

生田 義和
井 樋 栄二
岩 田 久
岩本 幸英
大井 利夫
小野村敏信
加藤 博之
金田 清志
腰野 富久
紺野 慎一
楠田喜三郎
酒 匂 崇
桜 井 実

澤村 誠志
田 辺 剛造
田 畑 四郎
玉 置 哲也
中村 耕三
馬 場 久敏
浜 西 千秋
佛 淵 孝夫
三 笠 元彦
三 浦 隆行
持 田 讓治
山 田 治基
吉 川 靖三

ロシアのソチで開催された冬季オリンピックも終わり、皆さんも一段落しているところだと思います。日本は金メダル1個、銀メダル4個、銅メダル3個という結果でした。多くの日本人は、だいたい金メダルを逃したなあと感じているかもしれません。元総理の発言が問題となりましたが、裏返せば、期待がとて大きかったのだと言えるでしょう。日本選手が本番に弱いというイメージがあるのでしょうか、選手は金メダルを目指して頑張っているわけで、勝負は時の運にも左右されますし、メダルをとって当然となると選手には酷かと思います。今回のオリンピックでも、人間の可能性や自分を信じる力、逆境を乗り越える強さ、師との絆を教えてもらいました。選手は襲いかかるプレッシャーの中で、いかにして自分をコントロールして最高のパフォーマンスを出すか自身と戦っています。そのためには、メンタルトレーニングが大変重要なのだと思います。われわれの学会発表や手術などにも通じるものがあります。さらに、今年はブラジルでサッカーのワールドカップが開催されますが、日本人の力を信じ、大いに期待したいと思います。12時間の時差を考えますと仕事が手につかない状況になるかもしれません。そして、関係各位においては2020年の東京オリンピックに向けて、有望な選手をどんどん育成していただきたいと思います。整形外科スポーツ医学の領域が益々忙しくなるでしょう。

本号の誌上シンポジウムは、「整形外科外傷治療の進歩」です。運動器の外傷は、整形外科医療において最も重要な分野です。この領域の治療の進歩が、関節外科や脊椎外科および腫瘍再建術などへ波及効果をもたらします。また、本号から新たに、『勘違い』から始める臨床研究—研究の旅で遭難しないために』と「運動器のサイエンス」の連載が始まりました。いずれも示唆に富む内容で、整形外科の分野で研究する者にとっては、重要な道標となるでしょう。今後の内容に、乞うご期待です。

今年は関東、甲信越が大雪に見舞われ大変なことになりました。普段のシミュレーションが大事なものは重々承知ですが、いざとなるとなかなかうまく機能しないのが世の常です。それでも、やるしかないと思っています。人間はどちらかと言うと、経験を積んで成長していく動物です。少なくとも私はそうなのですが、できる限りの備えとシミュレーションをしたいと思います。われわれの仕事も一緒ですね。春の足音が聞こえてくる今日この頃です。皆様ご自愛のほど。

(土屋弘行)

臨床整形外科 (第49巻第4号)

2014年4月25日発行(毎月1回25日発行)

定価 本体2,500円+税

2014年 年間購読料(税込, 送料弊社負担)

冊子版 30,240円

冊子+電子版/個人 35,240円

冊子+電子版/共有 39,800円

電子版/個人 30,240円

電子版/共有 34,800円

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 編集室直通 (03)3817-5702(担当:石井・山崎)

販売部直通 (03)3817-5659

ファクシミリ (03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 (株)アイワード 電話 (011)241-9341

広告申込所 (株)医薬広告社 電話 (03)3814-1971

オンライン投稿 ID:rinseige パスワード:rinseige

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2014, Printed in Japan.

- ・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
- ・本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・JCOPY <(株)出版者著作権管理機構委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。